

リコー三愛グループの歩み

三愛石油



三愛石油(株)設立

1952年6月9日
石油製品の販売を目的として、三愛石油(株)の商号でスタンダード・ヴァキューム石油会社の代理店として発足。

三愛石油

羽田営業所を開設。航空機への給油事業を開始

1952年10月27日
羽田空港内における構内営業を許可され、空港内に羽田営業所(現羽田支社)を開設。航空機への給油事業に着手した。

三愛会

自蹊会を「三愛会」に改称(三愛会設立)

1946年4月4日

三愛会



市村、グループ機関誌『三愛』創刊「三愛精神」を發表

1946年12月

リコー



理研感光紙から理研光学工業へと社名を改めた頃の本社(1938年、銀座8丁目)

理化学興業(株)から独立し理研感光紙(株)として設立(38年、理研光学工業(株)に社名変更)

1936年2月6日
財団法人理化学研究所における発明の工業化を目的とする理化学興業(株)から独立し、理研感光紙(株)として設立。市村清、専務取締役就任。

三愛会



自蹊会発足グループ機関誌『自蹊会会報』発行

1944年10月
社員が勤めを楽しく面白いと感じ、働くことに何の心配もない独特の「市村産業団」をつくり上げるため、各社の連携を図る目的で関連会社7社からなる自蹊会が設立された。

1950

リコー



理研光学工業、「リコーフレックスⅢ」を発売

1950年3月
カメラの大衆化の先駆けとなったリコーフレックスⅢは、カメラ店が大森工場まで直接買い付けに来るほどの大ブームとなった。

リコー



理研光学工業、ジアソ複写機の1号機「リコピー101」を発売。事務機器分野へ進出

1955年11月
市村はカメラの輸出拡販と市場調査のために頻りに訪問した欧米で、事務機の時代の到来を察知した。

1936

三愛



銀座に誕生した三愛(1946年)

三愛商事(株)設立(48年、三愛商事を(株)三愛に改組、設立)

1945年11月1日
終戦後の事業方針を「サービス業の開拓」と決定した市村は、三愛商事を設立し、食料品を適正価格で売る店をスタートさせた。

明治記念館



明治記念館創立時

市村、明治神宮からの再建要請で明治記念館を開館

1947年11月1日
元憲法記念館を結婚式場として開館、大成功を収める。

- 三愛会
- リコー三愛グループ以外の、市村清が手掛けた会社(初代社長就任)
- 市村清新技術財団
- コカコーラ ボトラーズ ジャパン / コカコーラ ボトラーズ ジャパン グループ
- 三愛石油 / 三愛石油グループ
- リコー / リコーグループ

リコー

理研光学工業、
(株)リコーに社名変更
1963年4月

三愛会



市村、佐賀県に佐賀県体育館
(現 市村記念体育館) を寄贈
1963年3月11日
小学校への講堂寄贈と同様に故郷への恩返しの一つ。スポーツ強化、文化振興など広く活用されている。

三愛



1990年、広告塔に「San-ai」の文字が浮かび上がった

三愛ドリームセンター完成
1963年1月13日
深夜午前0時の開店披露イベントが話題となる。

コカ・コーラ ボトラーズジャパン



ボトラー契約調印式

飲料の製造・販売会社、
日米飲料(株)を設立
(63年、日米コカ・コーラボトリング(株)に社名変更)
1960年12月20日
北九州地区のコカ・コーラ事業に進出。

三愛石油



三愛石油、
ハイドラント式給油施設による航空機給油業務を開始
1955年12月15日
その第1号となったのは日本石油(現 JX エネルギー(株))で、航空機は日航 DC-4 型双発機であった。

1960

コカ・コーラ ボトラーズジャパン



日米コカ・コーラボトリングの本社・
福岡工場を開設
1963年5月4日
深夜、歓声の中で福岡工場からコカ・コーラ第1号製品が誕生した。翌年、わずか1年余で製造100万ケース突破の快挙を成し遂げた。

リコーエレメックス



1962年12月、岡崎工場内に新設された量水器工場
市村、高野精密工業(株)の再建に着手
(62年8月、リコー時計(株)に社名変更)
1962年5月8日
時の通産大臣らの要請で、名古屋の高野精密工業の再建に乗り出す。「ダイナミックオート 33」などの人気商品を生み出していった。

三愛会



市村、母校の佐賀県北茂安
小学校に講堂を寄贈
1958年4月29日
故郷へ恩返しをしたいという願いの表れであった。

日本リース



(株)日本リース・インター
ナショナル設立
1963年8月1日
「使用すれど、所有せず」のキャッチコピーのもと、アメリカで成長していたリース業に進出。

西銀座デパート



西銀座デパート開店
1958年10月1日
数寄屋橋の堀が埋め立てられ、高速道路が開通したことを契機に道路下に日本初のショッピングセンターを開設した。

リコー



デミング賞のメダル

リコー、事務機業界初のデミング賞を受賞

1975年11月
2代目社長館林三喜男の強い意志で品質管理向上を図った成果が表れた。

コカ・コーラ ボトラーズジャパン



日米コカ・コーラボトリング、鳥栖工場を開設

1967年6月20日
竣工披露パーティーに市村も出席。

ホテル三愛



ホテル三愛（現札幌パークホテル）開業

1964年7月10日
市村はホテル業界へも進出したが、リコーの再建途上で1966年には売却することとなった。

市村清新技術財団



財団事務所となった旧市村邸と市村賞トロフィー



新技術開発財団設立を内閣総理大臣認可

1968年12月12日
市村は世の中の役に立つ仕事の基金として個人資産のほとんどにあたる約30億円を寄付、設立が許可されたのは亡くなる4日前であった。

リコー



リコー、静電複写機「電子リコピー BS-1」発売

1965年9月
電子リコピーの大ヒットは、無配に転落したリコーの救世主となった。

1970

コカ・コーラ ボトラーズジャパン



日米コカ・コーラボトリング、北九州コカ・コーラボトリング(株)に社名変更

1973年7月1日
社名変更前先立ち、同年4月、門司工場を開設。5月22日に盛大な竣工式典が挙行された。

三愛会



在りし日の市村清

創業者・市村清逝去

1968年12月16日

瀬の本高原リゾート



三愛レストハウス完成披露・開業

1965年8月25日
熊本県国立公園阿蘇山の一角、瀬の本高原に位置し、九州横断道路の中心にある。

リコーリース



2001年、東京証券取引所市場第一部に指定

リコークレジット(株)設立 (84年リコーリース(株)に社名変更)

1976年12月
事務用機器を中心としたクレジット販売事業、金融機関提携ローンなどの融資事業の営業を開始した。

リコー三愛グループ



リコー三愛グループ、日本万国博覧会(大阪)にリコー館を出展

1970年3月14日
大きな目玉のバルーンが異彩を放ち、万博のお祭りムードを盛り上げると好評であった。

リコーエレメックス



リコー時計、恵那工場増築竣工

1966年12月24日
腕時計生産を名古屋より恵那工場へ集中。

三愛石油

三愛石油、創立 50 周年を迎える

2002 年 6 月 9 日

三愛石油

Obbli

三愛石油、
コーポレートブランドを導入

2002 年 11 月 1 日

市村清新技術財団



新技術開発財団、
熱海に植物研究園開設

1991 年 10 月

市村清の熱海にある別荘「清恵荘」を市村幸恵夫人の遺志により植物研究園として研究者に開放した。

瀬の本高原リゾート



三愛高原ホテルの営業開始

1983 年 4 月 1 日

三愛観光、三愛レストハウスの建つ熊本県阿蘇・瀬の本高原に、三愛高原ホテルをオープンした。

三愛石油



三愛石油、石油元売会社である
キグナス石油(株)の全株式を取得

2004 年 12 月 1 日

これにより業容の拡大を図るとともに、長期にわたる石油製品購入権獲得による仕入れの安定化およびグループ規模での販売ネットワークの拡大を図った。

三愛石油



三愛石油、羽田空港における
新航空機給油施設供用開始

1996 年 10 月

リコー



リコー、創立 50 周年

1986 年 2 月 6 日

リコー創業 50 周年にあたり、社史「リコー 50 年の歩み」の発行などを行った。

2000

1990

1980

リコー



「市村自然塾 関東」の入塾式、活動スタート

2002 年 3 月 30 日

市村清生誕 100 周年記念として“生きる力を大地から学ぶ”をコンセプトに、子供たちを対象とした市村自然塾 関東が神奈川県にオープンした。

三愛会



市村の母校・北茂安小学校に
市村清展示コーナー誕生

1991 年 5 月 27 日

三愛会

三愛会、
創立 50 周年を迎える

1996 年 4 月 4 日

リコーエレメックス

リコー時計、
リコーエレメックス(株)に
社名変更

1986 年 4 月 1 日

本社看板も一新。



リコー

三愛ドリームセンターが
「日本における
モダンムーブメントの
建物 100 選」に選出

2003 年 9 月

銀座の真ん中に位置し、特徴ある丸いビルの美学、技術、思想が評価された。

コカ・コーラ ボトラーズジャパン



「市村自然塾 九州」入塾式

2003 年 3 月 29 日

市村自然塾 関東に続き、市村自然塾 九州が佐賀県にオープン。

リコーエレメックス



リコーエレメックス、
創立 50 周年記念式典を開催

1988 年 4 月 23 日

記念式典では、社長挨拶、今後の展望、表彰、講演会などさまざまなイベントが盛大に行われた。

三愛石油



三愛石油、新貯油タンク完成

2020年2月
増設工事を進めていた航空燃料用の貯油タンク2基が完成した。

三愛石油

三愛石油、創立60周年を迎える
2012年6月9日

市村清新技術財団

新技術開発財団、
公益財団法人 市村清新技術財団に改称
2018年4月1日

リコーリース

真実を見据えて、豊かに未来の実現へ

リコーリース、
創立30周年を迎える
2006年12月21日
記念ロゴを作成。

リコー



リコー、新施設「3L」を開設

2020年11月2日
リコー大森会館を改築、次世代ワークプレイス「3L（サンエル）」を開設。

市村記念体育館



肥前さが幕末維新博覧会開催

2018年3月17日
メイン会場として活用され、10カ月間の
総来場者数は220万人を超える。

三愛石油



三愛石油、
羽田空港再拡張事業に伴う工事完了

2010年10月
国際線地区給油施設の建設、貯油基地タンクの
増設、新栈橋建設を行った。

2020

2010

リコー

リコー、
創立85周年を迎える
2021年2月6日

三愛会

市村清没後50年
『三愛会会誌』特別号を
発行
2018年7月
2019年1月
『三愛会会誌』161号、162号を
特別号として企画・発行した。



リコー

RICOH
リコー、コーポレートブランド
ロゴをリニューアル
2005年9月
全体的に丸みを持ったラインに
より、知的でありながら親しみや
すさと人間性を表現。

三愛会

サガテレビ、
西銀座デパート、
エフエム佐賀が
三愛会に入会
2019年10月1日
三愛会の常任理事会社
のグループに属さない
会社の三愛会入会は
33年振りとなる。



リコー

脳磁計での測定の様子
リコー、ヘルスケア分野に参入
2016年3月14日

三愛石油

三愛石油、
国際油化(株)の全株式を
三井物産(株)より取得
2008年7月
三愛石油グループの一員と
して、販売ネットワークの拡
大を図る。

瀬の本高原リゾート

三愛高原ホテル、
瀬の本高原ホテルに屋号変更
三愛レストハウス、
瀬の本レストハウスに屋号変更

2019年10月1日
2019年4月、両施設の運営会社である三愛観光(株)が瀬の本
高原リゾート(株)に社名変更。それに伴い、同年10月、両施設
の屋号もそれぞれ変更して、新たなスタートを切った。

コカ・コーラ ボトラーズジャパン

吸収合併により、
コカ・コーラウエスト(株)に社名変更
2009年1月
コカ・コーラウエストホールディングス、
コカ・コーラウエストジャパン、
近畿コカ・コーラボトリング、および
三笠コカ・コーラボトリングを吸収合併。